

## 2022年3月のガス料金について

2022年1月28日

蒲原ガス株式会社

蒲原ガス株式会社は、原料費調整に伴い2022年3月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、2022年2月検針分に比べて従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり6.70円（税込）引き上げさせていただきます。

月間のガスご使用量が47m<sup>3</sup>の標準的なご家庭では、2022年2月適用料金と比べて、1か月あたり315円（税込）の引き上げとなります。

今回のガス料金の調整は、2021年10月～2021年12月のLNG（液化天然ガス）平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格が、前期（2021年9月～2021年11月）より上がったことによるものです。

なお、2022年3月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>

蒲原ガス株式会社

総務部 総務課 担当 小杉

TEL 0256-72-3337

<別 紙>

## 料金表（2022年3月）

### ●一般ガス供給約款料金

（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

2022年2月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり6,70円（税込）の引き上げとなります。

なお、基準従量料金単価に対して+33,34円（税込）調整して料金を算定いたします。また、基本料金は変わりません。

### 【一般ガス供給約款料金表】

（税込）

	1か月のご使用量 （適用区分）	基本料金 （1か月あたり）	単位料金	
			2022年3月検針分	（基準単位料金）
料金表A	0m <sup>3</sup> ~ 25m <sup>3</sup>	660.00 円	143.20 円	109.86 円
料金表B	26m <sup>3</sup> ~ 250m <sup>3</sup>	924.00 円	132.64 円	99.30 円
料金表C	251m <sup>3</sup> ~	2,123.00 円	127.85 円	94.51 円

ガス料金は、検針日の翌日から20日以内（早収料金適用期間）にお支払いいただく場合には、早収料金となります。早収料金適用期間を過ぎてお支払いいただく場合には、遅収料金（早収料金を3%割り増しした金額）となります。

### 【ガス料金の計算式】

早収料金 = 基本料金（税込）+ 従量料金単価（税込）× ご使用量

消費税等相当額 = ガス料金 × 消費税率 ÷ （1 + 消費税率）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

1か月のご使用量	2022年3月 適用料金	2022年2月 適用料金	増減額	増減率
47 m <sup>3</sup>	7,158 円/月	6,843 円/月	+315 円/月	+4.60%

※標準家庭とは月間のガスご使用量が47m<sup>3</sup>（43.12メガジュール）のご家庭をいいます。

なお、標準家庭使用量（47m<sup>3</sup>）は、当社におけるご家庭1件あたりの平均使用量/月（2016年度～2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2021年10月～ 12月原料価格	2021年9月～ 11月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	80,420 円/t	71,950 円/t	37,960 円/t
平均原料価格	82,040 円/t	73,400 円/t	38,730 円/t
調整額	+33.34 円/t	+26.64 円/t	—

### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2021年10月～2021年12月貿易統計値)} \times 1.0202 \\
 &= 80,420 \text{円/t} \times 1.0202 \\
 &= 82,044.484 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 82,040 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 82,040 \text{円/t} - 38,730 \text{円/t} \\
 &= 43,310 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(100円未満切り捨て)} \\
 &= 43,300 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 調整額 (1m<sup>3</sup>あたり) の算定 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)

$$\begin{aligned}
 \text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.070 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= 43,300 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.070 \text{円} \times 1.10 \\
 &= 33.341 \text{円} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点第3位以下の端数切り捨て)} \\
 &= 33.34 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.077円  
(0.070円に1.10(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1m<sup>3</sup>あたり+33.34円(税込)調整します。
- 2022年2月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり6.70円(税込)の引き上げとなります。